



春日部市立桜川小学校 令和3年10月1日発行

学校だより 10月号

児童数625人

春日部市大倉496-1 TEL 746-6238 (9/30現在)

桜川小HP <https://schit.net/kasukabe/essakuragawa/>

学校教育目標

進んで学ぶ子

(かしこく)

思いやりのある子

(やさしく)

体をきたえよく働く子

(たくましく)

地域と共に はぐくむ やさしさと笑顔あふれる 活力ある学校

今月の生活目標

時計を見て行動しよう

9月中は感染症防止策を講じながら、学習がスタートしました。各クラスとも真剣な表情で授業に取り組む子どもたちの姿を見ることができました。10月も頑張してほしいと思います。感染症予防等に関する詳しいことは、メール配信やホームページにてご確認ください。

「やるぞ！」と決めて勉強しよう

分散登校から始まった2学期も一か月が経ちました。9月半ばからは通常登校となりましたが、並行してオンライン授業を行っているため、まだ全員が揃わないクラスもあります。桜っ子全員、安心して登校できる日が一日も早く来るよう祈るばかりです。

さて、子供の頃、「勉強って何のためにするのだろう。」と思ったことはありませんか。勉強する内容についても、「こんなの、一生使うことないのでは？」と考えたことはありませんか。私はありました。今、目の前の子供たちが同じような疑問を抱いたとき、何て答えてあげますか？明治大学教授の齋藤孝さんは、著書「10歳のミッション」の中で「勉強することは、自分の可能性を大きく広げていくことです。そうすることで、人生の選択肢が増えていきます。やりたい仕事を選べる、好きなことができるというのは、自分の幸福感に大きく関わってきます。」と述べています。私も、概ね同じように答えていたと思います。とは言え、ずっと先にならなければ分からないことに、今やる気を出して取り組めるのでしょうか。なかなか難しいと思います。少しでも興味をもてればやる気も起きるのでしょうか、そういう内容ばかりではないと思います。そして、やる気がないとだんだん取り組んでしまいがちです。「だんだん取り組む勉強にはあまり意味がありません。『やるぞ』と自分で決めて勉強することが大切なのです。やる気がなくても、面倒くさいと思っても、『やるぞ』と決めてまずは5分間やってみる。自転車のように、こぎ始めたら簡単なことだってあります。」、こんな風に齋藤孝さんは述べています。続けて、「『面倒くさいけど……頑張ってみよう』とやる気を出して勉強をしてきた人は、大人になっても『やる』を選べます。一回一回の小さな『やろう』が、百回、千回と積み重なると、ものすごく大きな力になるのです。」と述べています。正にそのとおりだと私も思います。興味関心を大事にすることはとても大切ですが、興味関心をもてないといって避けてしまうと大きな損失につながります。得手不得手に関わらず、「やるぞ」と決めて頑張れる桜っ子の姿、期待しています。

(校長 加藤大二)

9月中の授業風景

